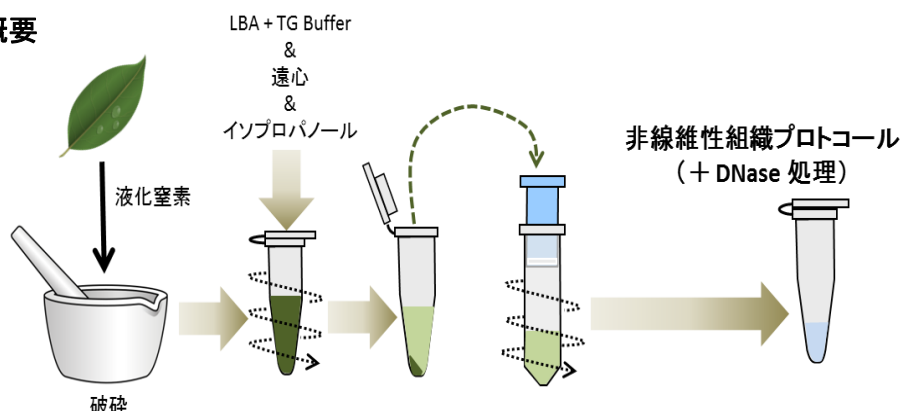


植物からのRNA精製

Reliaprep RNA Tissue Miniprep Systemは、抽出様々な植物組織からのRNA抽出に最適なRNA抽出キットです。植物サンプルは、液体窒素で凍結/破碎したのち、製品に添付されるプロトコルを改変することなく、下記実績例のように、高濃度かつ高純度なTotal RNAを抽出できます。

プロトコール概要



抽出事例

サンプル種	サンプル重量	RNA濃度 (ng/ul)	260/280	260/230
シロイヌナズナ(葉)	40mg	146.2	2.14	2.23
タバコ (葉)	40mg	472.7	2.14	2.19
コマツナ (葉)	40mg	322.3	2.18	2.15

他社キットでは、抽出困難なコマツナからも安定してRNA抽出できます。イネ・ヒメツリガネゴケ・トマト葉などからも抽出可能であることを確認済み。

プロメガでは、新たな植物種で挑戦したいユーザー様を募集中！！
ご興味のある方は、プロメガまでお問い合わせください。



Tips

2次代謝産物などのフェノール化合物や多糖類を多く含む植物サンプルではこれらの不純物を吸着/除去するために、サンプル溶解buffer (Homogenization Solution)に終濃度1~2% PEG (平均分子量20,000)と終濃度1%PVP (ポリピニルピロリドン)を添加することで改善する場合があります。

Total RNA精製システム (メンブレンタイプ: 細胞/組織用)

Reliaprep™ RNA Cell and Tissue Miniprep System



製品名	サイズ	カタログ番号	数量	価格 (¥)
Reliaprep™ RNA Cell Miniprep System	10回分	Z6010	1	11,000
	50回分	Z6011	1	30,000
	250回分	Z6012	1	136,000
Reliaprep™ RNA Tissue Miniprep System	10回分	Z6110	1	12,000
	50回分	Z6111	1	32,000
	250回分	Z6112	1	143,000

■ 内容

- Collection Tubes
- Reliaprep™ Minicolumns
- 1-Thioglycerol
- Column Wash Solution (CWE)
- Nuclease-Free Water
- BL Buffer (Cellのみ)
- Lysis Buffer (LBA) (Tissueのみ)
- Elution Tubes
- RNA Wash Solution (RWA)
- Yellow Core Buffer
- MnCl₂, 0.09M
- DNase I (lyophilized)
- RNA Dilution Buffer (RDB) (Tissueのみ)

■ 製品説明

Reliaprep™ RNA Miniprep Systemは培養細胞または組織からインタクトなTotal RNAの精製を約30分程度で迅速、シンプルに行うためのシステムです。特殊なカラム/結合マトリクスにより非常に少量のサンプルより効率的にRNAを捕捉することができ、溶出量を最小限に抑えることができます (15µl以下)。このメンブレンベースの精製システムは1回の精製で 5×10⁶個の細胞または0.25～20mgの組織を処理することができます。本システムにはミニカラム上で行うDNase処理ステップが含まれており、下流のアッセイを阻害する物質を効率よく除去することができます。フェノール/クロロホルム抽出やエタノール沈殿を行わずに精製することができます。用途に合わせてRNAをさらに精製したり濃縮する必要がありません。

■ 特長

- 100個程度の少ない細胞あるいは0.25～20mg程度の少量の組織からでもRNAを精製可能
- 阻害剤を含まない純度の高いRNAを精製
- 15µl以下に濃縮されたRNAを溶出
- 迅速な30分間プロトコル

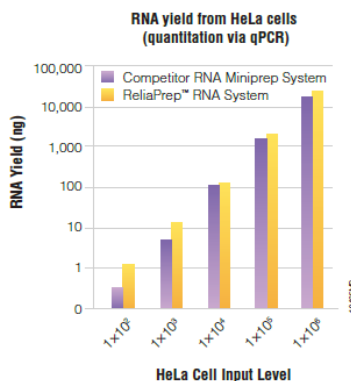
■ 用途

- 様々な下流の用途 (定量など) に適したRNAの精製

■ 保存条件 室温

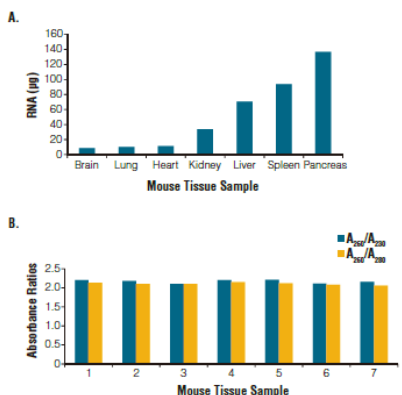
プロメガ資料

www.promega.co.jp/lit/reliaprepcellrna.html	
Protocol No.	TM370
www.promega.co.jp/lit/reliapreptissuerna.html	
Protocol No.	TM394



少数細胞でも優れた収量

RNA purified with Reliaprep™ RNA Cell Miniprep System または RNeasy® System で精製したRNAをGAPDHを標的としたTaqMan® qPCR assayで定量した。



マウス組織 10mg から精製したRNAの平均収量および純度

線維性あるいは非線維性のさまざまなマウス組織 10mg からRNAを精製した。パネルA. RNA収量は吸光度測定により算出。パネルB. A₂₆₀/A₂₈₀比 (タンパク質混入) またはA₂₆₀/A₂₃₀比 (グアニジンの混入) を分析して純度を検定した。

 日本語 Web site : www.promega.co.jp

 テクニカルサービス ● Tel. 03-3669-7980 / Fax. 03-3669-7982 ● E-mail: prometec@jp.promega.com

プロメガ株式会社

本社 〒103-0011
東京都中央区日本橋大伝馬町14-15 マツモトビルTel.
03-3669-7981 / Fax. 03-3669-7982

大阪事務所 〒532-0011
大阪市淀川区西中島6-8-8 花原第8ビル704号室
Tel. 06-6390-7051 / Fax. 06-6390-7052

